



## 十ノ瀬山ハングライダー大会が開幕

(9月2日・3日)

第21回十ノ瀬山ハングライダー大会かもしかカップが、十ノ瀬山ハンググライディングエリアを会場に、2日間の日程で行われました。

昨年は山頂までのアクセス道路が崩壊したため、今年は2年ぶりの開催となり、東北や関東から延べ67人が参加。参加者は、標高約650メートルの山頂から草原の斜面を駆け下り、勢いを付け次々と飛び立ちます。眼下に大館盆地がくっきりと眺望できるほどの晴天に恵まれ、鳥人達は悠々と空を駆けていました。



## 東北産直サミットが開かれました

(9月4日・5日)

東北地方・産地直売所サミットが、2日間の日程で開催されました。初日は、市民文化会館に約400人が参集。直売所の活動の発表や、さまざまな工夫を凝らして売上アップに努めている組織のリーダーにインタビュー形式で質問するディスカッションなどが行われ、これから直売所が進むべき方向などを考えました。



## 近代美術館名品展

(9月16日～24日)

県立近代美術館の名品展が郷土博物館で開催されました。県北ゆかりの福田豊四郎に光を当てたほか、秋田蘭画をはじめ近現代の日本美術界を代表する作家たちの作品が展示され、来場者の目を楽しませました。



比内地域扇田大通りの特設会場で、「ひない夕市商人祭り」が行われました。  
この祭りは、大館北秋商工会と扇田大通り会の主催。イベントは、メインステージを中心にもちまき、曲げわっぱ太鼓、鏡開き、独鈷ばやし離子、民謡、ゴスペルと多彩に練り広げられ、あふれるほどのにぎわいを見せました。

## あきんど ひない夕市商人まつり

(9月17日)



大館に秋の訪れを告げる大館神明社祭典が2日間に渡って行われ、踊りにとぎやかなお囃子はやしを乗せた「曳山車(ひきやま)」や子供たちのみこしが昼夜にわたって市内を行き交いました。

## 大館神明社祭典 (9月10日・11日)

